



目次

| | | |
|------|--|---|
| Q1) | 1PPS出力でGPS同期が出来ない | 2 |
| Q2) | GNSS信号を受信できたが、PTPの配信が出来ない(IEEE1588ver1を選択) | 2 |
| Q3) | GM200が正常に作動していることを判断する数値・状況 | 3 |
| Q4) | ソフトウェアのセットアップでログインできない | 4 |
| Q5) | WebUI(GUI)の各パラメータの意味 | 4 |
| Q6) | パラメータの設定値 | 5 |
| Q7) | パラメータ変更後の出荷時設定への戻し方 | 6 |
| Q8) | Date(GNSS UTC)の時刻をDate(Local)と同じにすることは可能か | 6 |
| Q9) | PTP1588v2-2008を採用したい | 7 |
| Q10) | Management Port以外のポートにて管理画面を表示可能か | 8 |
| Q11) | GUIの項目「Sync out」が表示されない | 8 |



Q1: 1PPS出力でGPS同期が出来ない

A1: パルス幅が1usecと短いと、ケーブルの引き回しで入力部で信号が無くなってしまう可能性があります。その場合、GUIで出力設定(Output Configuration)で1m秒(1,000,000 ナノ秒)に変更すると、同期できることがあります。

Q2: GNSS信号を受信できたが、PTPの配信が出来ない(IEEE1588ver1を選択)

A2:

1) 規格について

IEEE1588 ver.1は古い規格で、IEEE1588 ver.2が最新で2008年発行です。Ver.1を本当に使用必要であるのか(設備が古いためか)、ご確認ください。

2) チェックポイント

- ① IEEE1588ver.2ではないかどうか
- ② 貴社ご要望のPTP構成情報を教えて頂けますか
- ③ 貴社アラームリストがあれば教えて頂けますか



Q3: GM200が正常に作動していることを判断する数値・状況

A3: 次の3つの状態を確認次第、GM200が安定した状態で測定を開始できます。

(1) クリック: SYSTEM STATUS > GNSS > GNSS Receiverにある、Receiver ModeがOverdet Clock (Time)(ODモード)を確認します。電源ONから35分後に表示されます

※上記取扱説明書(英文)PDPのP.86をご参照ください。

(2) クリック: SYNCHRONIZATION MANAGEMENT > Sync Source > Sync Source Statisticsし、Sync Source欄にある“GNSS”が緑色でOffset・Mean・Sigmaの数値が一桁であることを確認します。

※上記取扱説明書(英文)PDPのP.108をご参照ください。

(3) イーサネット接続に関連するアラームを除き、すべてのアラームをクリアにします。

追記)

最適な条件(空がオープン、ルーフトップに取付)でGNSSアンテナを取付していれば、8以上の良好状態のSV(GPS・GLONASS構成)を確認出来ます。サプライヤの推奨として、正確な測定をしたいのであれば、いかなるケースでも最低5以上の良好状態のSVを挙げたいと考えております。つまり、最低5のSVで各衛星(SV)のdB信号(C/no)レベルは40以上が必要です。

※上記取扱説明書(英文)P.97・P.98をご参照ください。



Q4:ソフトウェアのセットアップでログインできません

A4:下記ID/PASSでお試しいただけないでしょうか。

ID: Trimblesuper

Pass: Tbolt_シリアル番号

* シリアル番号は、GM200本体下面にシールを貼っております。

Q5: WebUI(GUI)の各パラメータの意味

A5: 上記クイックガイドP.7以降をご参照ください



Q6: パラメータの設定値

A6: 以下の設定値に対する実際の値と設定範囲、Unit(単位)

Announce Interval(default value: -3)

Announce Timeout(default value: 3)

Sync Interval(default value: -4)

Delay Request Interval(default value: -4)

P2P Delay Req Interval(default value: 0)

回答)

グランドマスタークロックのインストール手順書(P.49・50):PTPプロファイル メッセージレートをご参照ください。単位は、P49に一覧を載せております。例えば、0ですと「1pkt/1sec」となります。



Q7:パラメータ変更後の出荷時設定への戻し方

A7:クリック:SYSTEM MANAGEMENT>System>右上のギアアイコン(設定変更)>Load Factory Config>右上の構成保存アイコン(変更完了)

Q8:Date(GNSS UTC)の時刻をDate(Local)と同じにすることは可能ですか

A8:不可です。アンテナ有・無で表示が異なります。<アンテナ有>GNSS UTC: UTC(フランス)から時刻を受信して表示Local:JST(日本標準時間)の表示のため UTC +9時間で表示<アンテナ無>GNSS UTC:初期値(1970/01/01 00:00)からスタートLocal:PCの時刻が表示



Q9: PTP1588v2-2008を採用したいのですが、ユニキャストになります。
可能ですか

A9: 可能です。管理ソフトウェアGUIからPTPの構成画面で
6.7.1.1 PTPグランドマスタークロック イーサネットポート0で
同期マネジメント【Synchronization Management】から【PTP】を選択、
【Ethernet Port0】の【IP MODE】でユニキャスト・マルチキャストの選択可能です



PTP Port Status: PTP port status - enabled or disabled
PTP Profile: G8275, G8265, G8265-1, telecom or 1588
Sync Mode: 1-step or 2-Step
Transport Protocol: Transport mechanism - IP or Ethernet
IP Mode: Multicast or Unicast
Delay Mechanism: E2E or P2P
PTP Mode: Master or Slave clock.



Q10: Management Port以外のポートにて管理画面を表示可能か

A10: Management Portのみです。但し、シリアルポートからコマンドラインで各パラメータの設定/確認ができます。

Q11: GUIの項目「Sync out」が表示されません

A11: OutputでSync outの設定ができます。
SYNCHRONIZATIN MANAGEMENT→Output